

令和4年度 北海道社会教育主事会協議会研究テーマに係る実践報告書

宗谷 管内	稚内 市・町・村
<p>●実践の概要</p> <p>①市民講座（生涯学習の意識形成、講師後継者の育成） ②稚内学（郷土愛の醸成、「わっかないびと」の育成） ③まなびふれあいフェスタ（地域活性化（豊かで活力あるまちへ）、市内団体の活動成果発表） ③南中ソーラン全国交流祭 in 稚内 2022（郷土芸能の継承、子育てのまちづくり継承） ④第6回日本最北端わっかない平和マラソン 2023（子育て平和都市、スポーツ都市の普及振興） ⑤子育て推進協議会活動（市民ぐるみの子育て運動の推進・継承）</p> <p>《対象》 稚内市民 ※男女・年齢問わず 《連携》 北海道開発局、陸・海・空自衛隊稚内分屯基地、文化財保護審議会、ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト稚内、ロータリークラブ、稚内市連合 PTA、校長会・教頭会 等</p>	
<p>●実践に至るまでの経緯・準備したこと</p> <p>《経緯》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む現場の講師、指導者の後継者を育成したい。 ・郷土芸能や子育て運動の理念などを稚内市の財産にしたい。 <p>《準備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携機関への協力要請→情報交換、共有、実施内容の決定 ・市内外への周知活動 	
<p>●実践で難しいと思ったこと・困っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での周知方法の模索、感染対策の程度による参集人数の減少 →感染症に対する価値観が個人で異なるため、感染対策に対し様々な意見が混在し、関係機関関係悪化、好転等差が広がった。 ・歴史ある既存活動の内容修正、変更が困難 →実施内容のマンネリ化防止のため、新規も取り入れたいが、人員、時間あるいは予算の関係で現状維持とする場合が多い。 	
<p>●改善のアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内施設では施設のガイドラインに則り運営する。感染対策への価値観に関わらずだれでも楽しめるよう、オンライン配信を行う ・次年度案は予算確定前に決定させ、新規展開に向けた準備を入念に行う 	
<p>●実践での行政職員の関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と協力者とを繋ぐ役割 ・企画の準備（事務作業）、運営、実施 	<p>●実践後の対象の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習活動への積極的な参加、学習意欲の向上、後継者候補の出現 ・地域活性化、（宗谷管内含む）
<p>●実践から導き出された社会教育行政職員の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種事業の準備、運営 ・支援団体へのアポイントメント等コーディネーター的役割 ・運営に関する指導及び助言 	